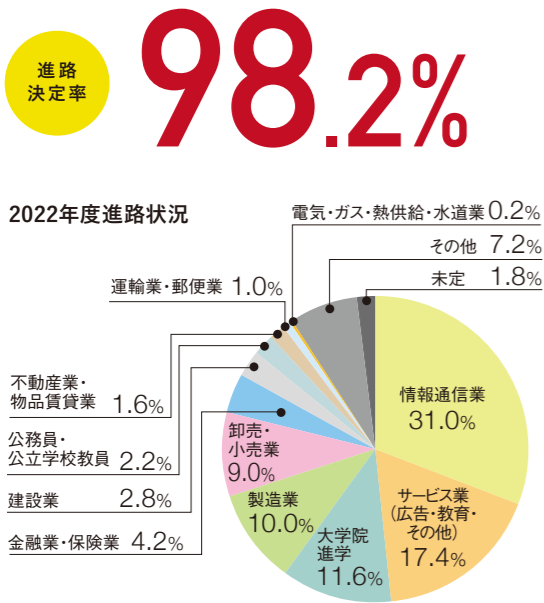


進路

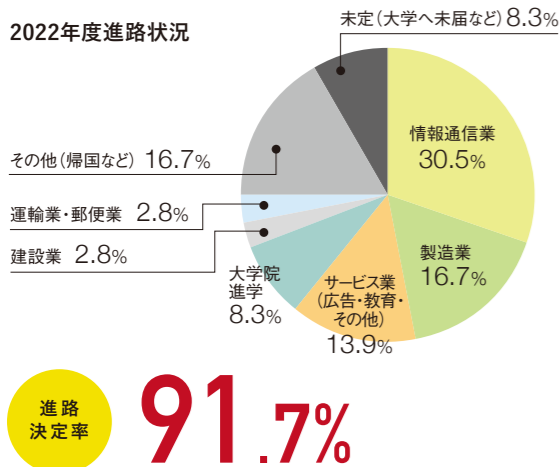
情報通信業やサービス業で活躍する卒業生の多い総合情報学部。

社会のDX(Digital Transformation)を推進する担い手として活躍しています。大学院に進学する人も増えています。

学部生



大学院生



CAREER

進路の一例(2022年度実績)

情報通信業	インテック、SCSK、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、NHKテクノロジーズ、NTTデータMSE、エヌ・ティ・ティ・データ関西、NTTドコモ、NTTフィールドテクノ、オービック、カオナビ、兼松エレクトロニクス、京セラコミュニケーションシステム、さくら情報システム、JR東日本情報システム、JSOL、ジェイテック、JRAシステムサービス、システナ、システムサポート、ジャステック、Sky、ソフトバンク、TIS、DMM.com Group、TBSアクト、東映、トーテックアメニティ、トーハン、豊田通商システムズ、西日本電信電話(NTT西日本)、ニッセイコム、日鉄日立システムソリューションズ、日本総研情報サービス、日本電気通信システム、NE XCOシステムソリューションズ、パナソニックインフォメーションシステムズ、富士ソフト、富士通、富士フイルムシステムサービス、三井住友トラストシステム&サービス、三菱電機インフォメーションシステムズ、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、USEN-NEXT HOLDINGS、楽天グループ、リクルート など
サービス業(広告・教育・その他)	アジア航測、ADKホールディングス、海遊館、総合警備保障(ALSOK)、大和総研、博報堂プロダクツ、マイナビ など
製造業	アイリスオーヤマ、味の素冷凍食品、伊藤園、伊藤ハム、NOK、エレコム、沖電気工業、キオクシア、小松製作所、サンスター、三和シャッター工業、JX金属、住友大阪セメント、住友電気工業、住友理工、象印マホービン、大日本印刷、テルモ、東芝テック、凸版印刷、日産自動車、パナソニックグループ、扶桑薬品工業、フタバ産業、三菱電機、三菱ロジスネクスト、明電舎、レゾナック など
卸売・小売業	イオンリテール、ウィーメックス、キャノンマーケティングジャパン、シマブンコーポレーション、ダイワボウ情報システム、阪和興業、ファミリーマート など
金融・保険業	関西みらい銀行、京都銀行、ジェシービー、住友生命保険、東京海上日動火災保険、南都銀行、日本銀行、明治安田生命保険、楽天カード、りそなグループ など
建設業	旭化成ホームズ、エクシオグループ、大林組、九電工、クリナップ、積水ハウス、大和ハウス工業 など
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、裁判所事務官一般職、京都市職員、大阪市職員、関市職員、奈良県教員、福井県警察官、奈良県警察官、高槻市消防吏員 など
不動産業・物品賃貸業	セキスイハイム不動産、リコーリース など
運輸業・郵便業	東海旅客鉄道(JR東海)、日本通運、日本郵便輸送、ホンダロジスティクス など
電気・ガス・熱供給・水道業	JERA など
大学院進学	関西大学大学院、大阪大学大学院、大阪工業大学大学院、京都大学大学院、京都教育大学大学院、筑波大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、鳴門教育大学大学院、兵庫県立大学大学院 など

進路の一例(2022年度実績)

情報通信業	SBテクノロジー、NTTコミュニケーションズグループ、京セラコミュニケーションシステム、ソフトバンク、ディー・エヌ・エー、トランスコスモス、楽天グループ など
製造業	新晃工業、ソニーグループ、TOWA、日本たばこ産業(JT)、日立Astemo、Meiji Seika ファルマ など
サービス業(広告・教育・その他)	アイレップ、アクセンチュア など
建設業	鹿島建設 など
大学院進学	関西大学大学院

大学院って、何？

GRADUATE SCHOOL

大学院に行くって、大学にもう少し長く通うこと？

→ **いいえ、大学院は「研究」を学ぶところです。**

大学が高校の次ならば、大学院は大学の次？

大学院では、大学の勉強の続きというよりも、「研究」を学びます。

大学院では、講義を受けて勉強するとともに、自分で研究を進めます。大学院の講義では、学部のように体系だった知識を学ぶだけでなく、各教員の専門分野での最先端の研究も学びます。また、問題を設定する、実験や調査を行う、論文を執筆し対外的に発表するという研究のプロセスを、個別指導を受けながら学生自身で進めます。総合情報学研究科ではこのプロセスを、主指導教員を含む複数の教員からなる「プロジェクト」で行います。さらに、国内外の研究者や社会人と交流する機会も多いことも総合情報学研究科の特徴です。

「研究」を職業にするつもりはないのですが…

研究のプロセスを学び研究を経験することは、どんな職業でも必要な「問題解決」の方法を学ぶことです。

たしかに、大学教員や研究職につく人は、それほど多くないかもしれません。ただ、現代では、科学や知識も社会のありかたも「日進月歩」ならず「分進秒歩」です。学んだ知識そのものは、その時は最先端でも、すぐに古くなってしまいます。しかし、研究のプロセスを学び、「問題を解決する方法」を身に付けた人は、どんな問題に直面しても、必要な知識を自分で見つけて問題を解決することができます。なお、2023年度には、総合情報学部卒業生のうち47人が総合情報学研究科に進学しました。大学院で学ぶことは、決して特別なことではありません。



色彩学の研究で、暗室とペンタブレットを使った実験をしているところです。([意思決定支援のためのコンピューティング技法]プロジェクト)



大学院では、研究の成果を国内外の研究者にプレゼンしたり、論文として発表することが求められます。([インタラクションの認知・メディア・文化]プロジェクト)



ロボット・視覚・音声の知識を総合して、感性の研究を進めています。([インタラクションの認知・メディア・文化]プロジェクト)

総合情報学研究科

情報のスペシャリスト・パイオニア養成を目標に展開する実践的なカリキュラムと画期的な教育システムが着実な研究成果に結実します。

前期課程は高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」の養成を目的とし、「社会情報学専攻」と「知識情報学専攻」の2専攻を設置しています。カリキュラムは情報化社会や先端技術など、最新の課題について院生が共同で研究する独自のスタイルを採用しています。また、後期課程は急激に拡大発展しつつある情報分野における未踏の領域に挑戦する人材「情報パイオニア」の養成を目的とし、文理総合の「総合情報学専攻」を設置しています。

情報メディア環境と社会や人間行動などとの関係を学際的に研究する社会情報学専攻

情報メディア・システムとその発展が、社会や人間行動の変化とどう関わるのかを学際的に研究しています。特に「教育」「コミュニケーション」「産業」「公共領域」という4つの分野を中心に、情報メディア環境の整備とシステムの構築をめざせる実践的教育を実施。多様な分野で指導的な役割を果たす「情報スペシャリスト」を養成します。

新しい情報環境と社会システムの構築を追究する知識情報学専攻

「知識情報学」とは、情報処理システムの高度な利用を目的に、新しい情報環境と社会システムを構築する学問です。本専攻では人間の認知能力に着目し、高度情報化社会に対応する、より使いやすい情報処理システムの構築を研究。先端的な技術と幅広い視点をもった技術系の「情報スペシャリスト」を養成します。

未踏の領域を切り拓いていく情報パイオニアの養成をめざす総合情報学専攻

博士課程後期課程では、次代に求められる新しい情報環境の創出に向けて、文系と理系の分野にまたがる文理総合の1専攻を設置。「高度情報システム」などの最先端のテーマを幅広くカバーする5つの領域を中心に研究し、急激に発展・拡大しつつある情報分野を開拓する「情報パイオニア」を養成します。